

支部だより

北海道支部だより

令和5年は、平成16年の北海道支部設立から20年目という節目の年でした。設立からしばらくは、全員が第一線で活躍しており、支部行事を通して個々の近況報告と業界の情報交換に話が盛り上がり、北海道に居ながらも高丸の匂いがしたものです。しかし年の経過とともに、第一線を退き第二の人生を歩んでいる会員も多くなり、体調不良との声も聞こえ始め、以前のような活動は行えなくなっています。その様な流れを受け入れながら支部活動を進めてまいります。

令和5年度の活動内容及び今後の予定は次のとおりです。

〔支部総会〕

開催日…令和5年7月6日(木)
場所…おたる亭
参加者…8名

矢後支部長(G22)の挨拶に続き、本部の飯田事務局長から学校及び淡水会の活動報告がありました。その後、令和4年度の事業報告と会計報告及び監査報告、令和5年度の活動計画と予算計画を審議



令和5年度支部総会

し、すべて承認されました。懇親会もお互いの近況報告等で盛り上がり、閉会となりました。

〔ビール会〕

開催日…令和5年8月7日(月)
場所…サッポロビール会場
参加者…6名

恒例の札幌夏祭り大通りビアガーデン、好天に恵まれ柔道部OBの特別参加もあり懇親を深めました。

〔令和6年新年会〕

開催日…令和6年2月13日(火)
場所…おたる亭

本部マンスリーレポートの配信による情報共有

(学部24回 山本 和秀 記)

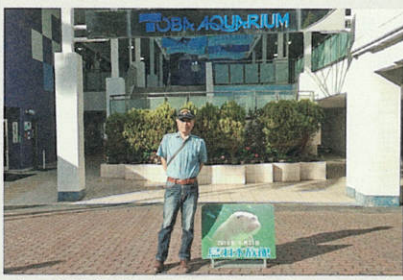
淡水人紹介

学部27回 前田 隆佐

思えば52年前、「サクラサク」の電報が届き、18年間住んだ能登七尾を離れ、喜び勇んで垂水の街に。垂水でよく行つたと覚えているのは、寿司の増田屋、中華の眠眠、喫茶のブラジル、一品料理のまち子、名前は忘れたが2軒並んだ小さなパチンコ屋。星ヶ丘の下宿に1年、学生と社会人が同居するため、学生が深夜までうるさいと社会人から苦情が出て、学生全員が下宿を追い出された。急遽、探したのが旭が丘の3畳間借り、他人の部屋を通らないと部屋に入れないため気ま

ずく、4カ月で清水通のアパートに転居。未成年の私が連帯保証人も無しにアパートの賃貸契約を結べたのは商大生のブランド力であり、古き良き時代でした。なぜか5年も住んだ垂水の街、平成3年に大阪出張の帰りに商大筋を歩いて大学に、平成22年に金沢から車で行った時は、記念碑の写真

を撮り、大学跡が大きく変わり、明石海峡大橋が見えたのには時の流れを感じました。卒業後、北陸



鳥羽水族館前 (退職記念の伊勢志摩旅行)

銀行に入行、当時の神戸支店勤務を希望したが、北海道旭川へ。北海道民の妻と結婚し、東京、石川、富山、北海道と転勤し、平成13年に札幌琴似に自宅を建てて完全に道民となりました。12年前に関連会社のほくほく債権回収(株)に転籍の後、65才で定年退職。その後、知人の紹介で社会福祉法人に入職し5年、古希を迎えると47年になるサラリーマン生活を卒業します。これからはたっぷり時間ができるので温泉巡りでも、その前に垂水の街をぶらり歩いてみたいと思っています。

東京支部だより

東京支部はコロナ禍において、参加される会員の多くは高齢者であるため総会、懇話会および分科会の活動を自粛していました。2023年5月新型コロナウイルスの5類への移行後も東京地区では充分に感染が収まっていないとの幹事会の判断から自粛を継続させていただき、会員の皆様にご不便をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

東京支部としては、令和6年1月開催の三大学(旧商大・姫工大・看護大)合同懇親会を皮切りに支部活動を再開し、令和6年度の活動からは以前どおりの支部活動を行ってまいります。

会員の皆様におかれましては、これまでどおり支部活動へのご理解、ご参加およびご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い

いたします。

(支部長 学部18回 永井 豊 記)

淡水人紹介

社会福祉士

学部33回 三宅 和宏

新型コロナウイルスの蔓延により外出等を制限される中、同居の認知症の母を毎日デイサービスは受け入れていただき、デイサービススタッフの皆さんに感謝です。私としては、独居の高齢者の方はずっと不自由されているのではないかと思い、訪問介護ヘルパーを今までに増して積極的に行いました。ちょうど還暦の歳を迎え、人生のセカンドステージの目標として国家資格である「社会福祉士」の合格を目指すことを決めました。

商大卒業生の私には受験資格さえありませんので、短期養成機関(通信)に入学して勉強し、実務研修等も受け令和4年に無事卒業しました。勉強、介護の仕事、親の介護、そして本業の仕事とかなりきつかったなあと思います。卒業後は、試験合格のための勉強(還暦を超えたとなかなか人名や単語を覚えるのも大変です)を同様になして、令和5年の社会福祉士国家試験(介護福祉士試験とW受験)に臨みました。

結果は、信じられないですが何と1発でのW合格、商大での成績は「可山優三(可が山のように多く、優が少ない)」の

私が優秀?..な成績で..

試験合格後は当面の目標がなくなりちよつとゆつくりしましたが、8月からは高齢者に加えて重度障害、知的障害や視覚障害等の方の支援にも範囲を拡げました。

次は成年後見人としての登録社会福祉士を目指すべく研修等を受けながら、親の介護、本業は勿論のこと何らかの支援を必要としている方への福祉の仕事等を頑張りたいと思っています。

東海支部だより

東海支部は総会、ウォーキング会、ゴルフ会を開催して会員の交流を図っています。昨年からは土曜開催になりました。参加者も少し増加したので令和5年度も引き続き土曜開催にして、11月18日(土)午後4時から名古屋三越百貨店9階のレストラン東洋軒で開催されました。今年は学部5回から学部56回までの25名の参加があり、参加者の年齢差は今まで一番大きかったです。総会は例年のように支部長挨拶、会計による事業・収支等の報告後、監査報告へと進められました。来賓として草薙副学長、飯田事務局長にお越しいただき、大学の現況や淡水会との活動、他地域の支部の動きなどの話に参加者も興味深く聞き入っていました。その後の懇親会では参加者の年齢の幅が大きいにもかかわらず、神戸で学生生活を



東海支部総会の全員集合写真 (令和5年11月18日)

過ごした共通の話題もあり、世代間のギャップを感じさせない会員相互の会話が進み、楽しい時間があったという間に過ぎてしまいました。最後は、学部27回の田中千春さんによるマジックの披露があり、参加者の皆さんが一体となって楽しめました。今後は、昨年からの参加が増えた若い会員、女性会員の参加を更に多くする活動を進めながら、総会、ウォーキング会、ゴルフ会などを通して会員相互の交流を図っていききたいと思います。

(学部26回 小宅 一夫 記)

東海支部ウォーキング

快晴の令和5年4月9日に関ヶ原古戦場巡りのウォーキングを開催。JR関ヶ

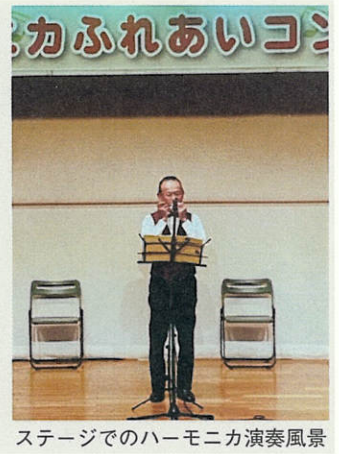
原駅前集合参加者は14名。歴史記念館で迫力の合戦の映画鑑賞後、石田三成陣地高台から戦況をガイドさんが説明。完璧な布陣の西軍陣営が寝返りで崩壊。1500人の島津軍のうちの敵中突破の帰還者80名(95%戦死)、戦場の悲惨さを痛感。鹿児島県日置市は毎年小中の生徒に島津軍退路の伊勢街道を夏休みに踏破させ薩摩の偉大な先人の魂を若者に難行で体験教育。何十年も続く伝統の教育精神に深く感銘。最後は*厭離穢土欣求浄土*(穢れた世を嫌い平和な浄土を心から願う)一家康の心を表す旗が春風に揺れていました。



(学部24回 佐川 高樹 記)

淡水人紹介

学部25回の小栗浪雄さんは名古屋に本社のある総合商社「豊田通商」を定年退職した後、出身地の岐阜県瑞浪市にUターンして、小規模な農業を営みながら周辺の田畑や山林の環境保全にも努めておられます。地元では軟式野球部の2チー



ステージでのハーモニカ演奏風景

ムに所属して週2回ぐらゐの練習に励んでいることもあり、岐阜県での古希野球の全勝優勝を機に全国大会にも出場されました。学生時代は硬式野球部に所属して4年間プロ並みに練習されたとの自負があるようで、近畿リーグ1部と2部の日生球場・藤井寺球場での試合経験が自信となつて、今の軟式野球での活動にもつながっているようです。6年前にハーモニカを先生に師事し、ステージでハーモニカ演奏する腕前に上達されたようです。豊田通商では1980年代に3年間ニューヨークに駐在して鉄鋼製品の貿易を担当され、駐在中はニューヨークヤンキース・スタジアムの年間シートも保有され、大リーグの試合を堪能されました。また、毎晩のようにピアノで日本の演歌を披露され、国際交流にも努められたようです。

(学部26回 小宅 一夫 記)

北陸支部だより

令和5年度の淡水会北陸支部総会は、



令和5年度支部総会

12月16日(土)午後5時半から金沢「近江町食堂」にて、草薙副学長、飯田事務局長にお越し頂き、4年振りの開催となりました。出席者は本部からの2人を含め14人でした。久しぶりの再会に、皆コロナ明けの喜びを思い抱く会となりました。

総会は最初に、何も出来なかった4年間の事業・会計報告を承認し、その後草薙真一副学長による「これからの脱炭素社会」との講演を拝聴しました。カーボンニュートラルに向けた取り組みや、本学が進める研究に「明るい未来を聞かせてもらい、元気が出てきた」との声もありました。また、「若い世代に盛り上げていってほしい」との米田支部長の言葉を受けて役員が改選され、新しい体制が

次のように決まりました。

- 支部長 石丸俊二 (G 29)
- 副支部長 鈴木英雄 (G 28)
- 幹事 鈴木和代 (G 27)
- 会計 藤井伸也 (G 32)
- 監事 左近政裕 (G 28)
- 事務局 鈴木和代 (G 27)

懇親会ではお酒が進む中、恒例の近況報告が始まりました。今回初めて参加された方との卒業以来の再会を喜ぶ人、卒業以来長く続いている交友を通して本学を卒業してよかったとの話や卒業単位をめぐる話など、学生時代の懐かしい話が次々と語られ、大いに盛り上がったひと時になりました。話の中にはそれぞれの活動が結びついていた人もいて、世間は狭いと感じる場面も見受けられました。

体制も新しくなった北陸支部、これから多くの皆さんに参加して頂ける支部総会、事業を企画していきたいと思っております。今後ともご指導ご鞭撻を宜しくお願いします。

(学部28回 鈴木 英雄 記)

京都支部だより

新型コロナウイルス蔓延のため長らく総会を行うことが出来なかった京都淡水会ですが、6月17日(土)「からすま京都ホテル」にて4年ぶりに開催することができました。

当日は京都出身の高坂先生が学長に就任されて初めての総会でお会いするのを



6月17日「からすま京都ホテル」にて総会

楽しみにしていました。学のため都合が悪くなり草薙真一副学長にお越しいただきました。また、淡水会本部事務局長・飯田久夫様、新大阪支部長・木村幸二様、神戸支部を代表して井原和夫様のご参加でにぎやかに執り行わせていただきました。

総会において1年間の事業報告ののち、「アンチエイジングについて」という演題で講演をさせていただきました。平均寿命と健康寿命の相関関係、そしてどうすれば健康寿命を延ばすことができるのかという内容に大変喜んでいただきました。記念写真の後、懇親会に移り長く会っていなかったことを埋めるように話が大変盛り上がりました。京都淡水会恒例



7月15日「白河院」にてゆかた会

のお楽しみ、ビンゴゲーム大会は有志の寄付による景品に一喜一憂されていました。

楽しい時間はあっという間に済んでしまい、エール交換後、神戸商科大学学歌を全員で斉唱しました。中締め挨拶は今年も村瀬一郎氏にお願いして和やいだ雰囲気の中お開きになりました。今年の総会は久しぶりということもあって例年より多くの参加がありました。

新年会は1月14日(土) 岡崎の「白河院」にて執り行いました。白河院はもと藤原良房の別荘であったと言われている料亭で回遊式庭園を愉しみながら食事のできる京都らしい処です。今回も宮川町の芸奴「小ふく」さんをお呼びして楽しい会話やお酒のお酌をしてもらいながら、

京舞を楽しみました。「小ふく」さんのツショットは一生の思い出になることでしょう。

ゆかた会は7月15日(土)に新年会と同じく「白河院」にて開催しました。当日は祇園祭の宵々山にあたり京都は街中でお祭り気分になる時です。今回は祇園で唯一のバイリンガル芸奴である「富津愈」さんをお呼びしました。新年会、ゆかた会は京都淡水会の催しではあるのですが京都以外の方も大勢参加されています。ご参加のご希望の方はご連絡下さい。

(学部24回 高野 佳良 記)

淡水人紹介

学部25回 佐原 明子

昭和50年に卒業して約50年が過ぎようとしています。早いものです。



京都とはいえ「田」の字の内だけでなく市内の南の端、伏見区の手筋商店街の真ん中のかばん、袋物を営む家で生まれ育ちました。小・中・高一貫の聖母学院というカトリックのミッションスクールで学びました。進学は特別なことではなかったのですが、なにしろ男子の多い経済・経営の単科大学というので、シスターは

じめ先生方から「何故？」という問いかけがありました。高2の春、父が倒れしがない商いを続けながらなら大学に行ってもいいと母が許してくれ、それならと神戸商大に進んだ次第です。

早朝の京都から快速電車に乗り須磨で乗り換え垂水に着き……昼の講義が早く済み大阪で降りて本町、船場界隈の問屋を回り仕入をして帰宅するという丁稚奉公しながらの学生時代でした。教科書と共に仕入代金を支払うために小切手帳と印鑑を持ち歩き……店は昭和10年から祖父・母と養子に入った父がこつこつと続けていましたが、結局私が引き継いで53年。大阪や東京の取引先も増え、一時は香港やタイ、ヨーロッパにも商品をみつけに歩いたこともありましたが。なんせ若かった……。

ゴンドラチェフの波が二周する60年間は細々とでも仕事を続けたいと願っています。商店街を通る人たちが「まだこの店あるやん」と言い乍ら立ち止まられることが多々……。絶滅危惧種のカバン屋ですが生きてる間は続けるつもりです。

奈良支部だより

令和5年度の支部総会は、4年振りに開催致しました。開催場所は今回からホテル日航奈良に変更。大学からは草薙副学長、淡水会からは飯田事務局長、大阪

支部の木村支部長に参加頂き、奈良支部からは18名参加の総勢21名での総会となりました。

冒頭、児玉支部長からコロナが落ち着きようやく総会を開催できたこと、皆さんと久しぶりにお会いできたことを大変うれしく思うとともに、来年度は奈良支部の10周年記念でもあり、来年度はより多くの方に参加頂きたい旨お話をさせていただきました。

今年度副学長にご就任された草薙副学長からは、大学の現状、高坂前副学長の大学への思いなどをお話しされました。わずか2時間の会合でしたが、参加者全員に一言ずつお話し頂き、自身自身の現状や総会への思いなど多数ご意見





を頂戴致しました。

来年度、令和6年度の総会については9月14日(土)、本年同様ホテル日航奈良にて(12時受付、12時半開始)実施する予定です。詳細につきましては、近づきましたらハガキにてお知らせいたします。尚、支部創設10年を祝う会となりますので、奈良支部会員だけでなく他の支部の方々にも是非参加頂きたいので、宜しくお願いいたします。

奈良支部 事務局 奥野真太郎 (G52)

tansuinara@gmail.com

(学部52回 奥野 真太郎 記)

淡水人紹介

大学時代の思い出は

大学時代の

一番の思い出は、2年の夏休みに柔道部の仲間3人で行った原付バイクでの淡路島一周旅行。テント宿泊するという2泊3日の貧乏旅行で、2泊目は、五色浜というところでテントを張りました。海水がとてもきれいだったのをよく覚えています。



学部35回 梅崎 賢三

寝ていると夜中の1時頃、突然テントがバリバリと音を立てて倒れてきたのです。驚いて、テントから飛び出すと、十数名の男たちに囲まれていました。

血気盛んなあの頃は、相手のことをあまり怖いと思わず「俺ら、商大柔道部やぞ。お前ら、全員しはいたるからな。」と言って、男たちに立ち向かっていきました。すると、リーダーらしき男が近づいてきて、「ごめんなさい。」と素直に謝ってきたのです。聞くと、彼らは地元の高校生たち。夏休みに面白いことがなくて、どうも悪ふざけが過ぎたようでした。その後は、お互い和解して、わいわい騒ぎながら、朝までしゃべっていました。そんな彼らも今は還暦前の素敵な親父になってるんでしょうね。

大阪支部だより

令和5年6月20日(火) 大阪倶楽部において、淡水会大阪支部の講演会・総会・懇親会が開催されました。

講演会は、兵庫県立大学副学長草薙真一様より、「脱炭素社会と兵庫県立大学の挑戦」というテーマでお話を頂きました。脱炭素社会への取り組みという時代の課題を、大学の立場からどのように挑戦しているのかを説明頂きました。

講演会に引き続き総会では、兵庫県立大学学長の高坂誠様、副学長の草薙真一様、京都支部長の高野佳良様、神戸支部長代理の柴崎義幸様、奈良支部長の児玉和夫様のご紹介そして本部事務局長の飯田久夫様からご挨拶を頂いた後、事業活動報告、会計報告及び会計監査報告が行



ジャズバンド

われました。

前支部長の森田昌子様による乾杯のご発声に続いて食事と歓談。一段落した後、初参加者の紹介に続き、昨年と同様にジャズバンドの演奏で懇親会を盛り上げて頂きました。最後に学歌合唱で閉会いたしました。

次回の大阪支部の定期総会は、令和6年6月15日(土) 11時から開催する予定です。

(学部38回 木村 幸二 記)

淡水人紹介

学部38回 木村 幸二
令和4年より淡水会大阪支部の支部長としております学部38回の木村幸二と申します。

昭和63年4月に積水ハウス株式会社に入社し、大阪での建築営業一筋で19年勤務いたしました。平成19年4月に有限会社ケイツーコンサルタントの代表取締役

に就任し、収益不動産の管理業務を主たる業務とし、仲介業務やリフォーム業務、建築コンサルタント業務等も行っております。



一泊旅行in淡路島

趣味は、旅行（温泉・食べ歩き・ドライブを目的に）、スポーツ観戦（野球・ラグビー・アメリカンフットボール・テニス等々、元々はプレイヤーでしたがさすがに引退して）、アルトサクソ演奏（50歳から始めた初心者で、まだ楽譜が読めません）、愛犬（三太・ラブラドルレトリバー・6歳）との1日2時間のウォーキングです。共通の趣味をお持ちの方はぜひ一声掛けてください。
 次回の大阪支部の淡水人紹介は、副支部長の学部48回の本邦人さんをお願いしたいと思っております。今後とも大阪支部にご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

神戸支部だより

大学の地元神戸にある神戸支部ですが、それゆえの活動のために支部幹事の皆様の奮闘があるとおもいます。

といいますが、今の学生さん、若い世代が同窓会を必要としないのです。そもそも集まるとしよりの話を聞きたくないという方が多いとおもいます。

私たち神戸支部幹事の活動は、若い世代ひいてはその次をになう学生さんとの接点を持ち、淡水会を認知してもらうこととに主眼をおいています。7月には学生さんとのランチミーティングを実施し、約2時間ほどお互いの意見を交換しました。また昨年より学生幹事として2名の学生さんに支部のお手伝いをしていただいています。いまのところ、おおきな成果は出ていないですが、今後へ期待しております。

従来からの活動として昼食会を1年に3回の予定で開催しております。毎回30名程度の参加をいただいております。ニューミューン神戸大使館で永年開催しておりますが、お店の都合でいまはお店を固定していません。早い時期に固定できればと思っております。時期も4月、8月、12月というだけで日にも固定していません。こんな状況ですが、参加したいとおもわれる方は支部へ連絡ください。また支部幹事を務めていただく方も連絡をまっています。淡水会会員の皆様よろしくおねがいいたします。
 神戸支部連絡先 G 27 柴崎義幸
 shibasani021@yahoo.co.jp
 (学部27回 柴崎 義幸 記)

淡水人紹介

学2017 岡村 有希子
 この度機関誌「淡水」への寄稿を仰せつかりました、学部2017年卒の岡村有希子です。

大学卒業後、外資系保険会社での営業職と学習塾で最年少の個別指導責任者を務めた後、2021年に個人のオンライン家庭教師として独立。2021年11月にEdunuse株式会社を設立し、現在代表取締役として活動しています。当社は小学生専門のオンライン学習サービス「ホームラーニングアプリカ」を立ち上げ、IQ（学習力）とEQ（心の力）の両方をバランスよく発展させ、次世代を生き抜くためのスキルを育む教育事業を展開中です。明るく・前向きに・豊かに生かされる人を一人でも多く育てたいという想いで事業をおこなっているため、ぜひ当社サイトをご覧くださいければ幸いです。

お客様は、○○○事業では学童保育や出版社様、○○○の事業では個人の家庭になります。まだ経験の浅い経営者ではありませんが、教育業界を魅力的で明るくする存在となるよう精進してまいります。最後にな



りますが、淡水会のメンバー皆様のご健康と幸福をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

明石支部だより

令和5年11月12日（日）西明石の「ホテルキャッスルプラザ」において明石支部総会・懇親会を開催し、学部12回〜48回までの15名にご参加いただきました。

草薙真一副学長より来賓のご挨拶、淡水会岡村会長の乾杯でスタートし、津野副支部長の名進行のもと懇親会は進み、飯田事務局長より大学・同窓会のトピックスのご報告、参加者全員のスピーチと続き、懐かしの商大学歌を唄い万歳三唱で幕を閉じました。

なかでも、学歌斉唱の際は応援団出身の岡村会長がリードしていただき、おおいに会場が盛り上がりました。



準備の段階から事務局には案内の発送など多方面でサポートしていただき、またベテラン副支部長お二人にも助けていただいたお陰で盛会に終えることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。

来年の開催にあたっては、早めの準備で県立大学卒業生や若手の参加を促し、世代を越えた淡水会員の交流発展に繋がればと考えております。

加えて、日帰りバス旅行や美食会など、何か目的を持った企画も今後検討していきたいと考えておりますので、リクエストがあれば気軽にご連絡いただければ幸いです。

明石支部連絡先 G 48 佐藤克徳
satou@pierservice.co.jp
090-8532-4588

(学部48回 佐藤 克徳 記)

東播支部だより

東播支部総会開催

淡水会東播支部では、2020年以降、コロナで活動を休止していましたが、23年度より、4年ぶりに活動を再開しました。講演会と懇親会を兼ねた総会を11月11日(土)に、加古川プラザホテル内の東京田村で行いました。来賓として、本大学副学長の草薙真一教授、淡水会の岡村武和会長、淡水会本部の飯田久夫事務局長にご参加いただきました。

冒頭、長年にわたり、東播支部支部長を務めていただきました故木ノ村一様のご冥福を祈り、全員で黙禱しました。

【草薙真一教授講演会】

総会に先立ち、約1時間、草薙真一教授に「これからの脱炭素社会」という題目でお話しいただきました。

再生可能エネルギーの中で、再生燃料の現状や将来性について、また、事業を進めていくうえで、各学部間の連携の重要性等、わかりやすく解説されました。

【総会】

講演会後、記念撮影を行ってから総会・懇親会に移りました。田中副支部長進行のもと、まず、永恵義晴支部長の開会挨拶の後、来賓にお招きした草薙真一副学長、岡村武和淡水会会長、飯田久夫淡水



令和5年度淡水会東播支部総会

会事務局長からご挨拶をいただきました。学部23回の登幸人様の乾杯で懇親会が始まり、和やかな雰囲気の中で歓談が進み、親交を深めることができました。4年ぶりということもあり、各自近況報告を行い、大いに盛り上がりました。最後に、全員で神戸商大の学歌を斉唱して、閉会しました。

■支部ゴルフ会

年2回、春と秋(姫路支部と合同)にゴルフコンペを実施しました。

【第70回東播支部コンペ】

とき 令和5年6月13日(火)
ところ 城山ゴルフ倶楽部
参加者 10名
優勝 登幸人、準優勝 飯田久夫

【第71回東播支部・姫路支部合同コンペ】

とき 令和5年10月24日(火)



第70回淡水会東播支部ゴルフコンペ

ところ 城山ゴルフ倶楽部
参加者 18名
優勝 奥野隆生、準優勝 菅原康友
(学部31回 田中 耕三郎 記)

姫路支部だより

コロナで自粛していた活動も再開はじめ、本年度は新年会、支部総会を開催しました。

■新年会

とき 令和5年1月24日
於・中国料理新北京
参加者 15名(予定26名)
来賓 清元秀泰姫路市長

姫路市長を来賓にお迎えし、支部会員との交流を予定していましたが、近年にない大雪となり、新年会どころではなく急遽中止となりました。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。結局、姫路市長をはじめ支部長、副支部長など有志15名での懇親会となり、新年にふさわしい新雪を眺めながらの飲み会となりました。後日談では、閉会后、それぞれの家にたどり着くまでの道中は大変だったとのことでした。

■支部総会

とき 令和5年8月29日
於・姫路キャッスルホテル
参加者 23名
来賓 高坂誠学長 内田勇人副学長、飯田久夫淡水会事務局長

【総会】

議案一 支部役員交代

副支部長【退任】松本茂樹（G28）

黒塚正規（G32）

【新任】喜多村泰三（G38）

柏木則人（G47）

議案二 会計報告

両議案共に満場一致で承認されました。

大西支部長の開会の挨拶で始まり、大雪の「記憶に残る新年会」でのハプニングや若者を参加させる方策を考えたいなど話されました。

高坂学長より大学改革、「授業料・入学金無償化」についてお話があり、子育て世代は関心を持って聞き入っていました。

【懇親会】

内田副学長の乾杯のご発声で開宴とな



り、飯田事務局長から大学の近況報告をいただきながら会は進み、初参加1名の紹介で終宴となりました。例年はグリークラブや商実のOBメンバーによる学歌斉唱で締めるところですが、コロナの余波をまだまだ実感する閉会となりました。

姫路支部会員皆様にお知らせです。

私の落ち度で会員データを減失してしまいました。誠に申し訳ございませんが、今後の葉書のご案内は最近2～3年のうちにお返事をいただいている方に限らせていただきます。

R5年の新年会の案内が届いていない方で案内が必要な方は支部事務局までメールにてお知らせください。

（姫路支部事務局）

学部45回 井上 啓明 記

山陰支部だより

令和5年12月9日（土）、小春日和の松江市玉造温泉街「湯の助の宿 長楽園」で支部総会を開催しました。大学より草薙真一副学長及び飯田久夫事務局長にお越しいただき、計10名の出席でした。

尼ヶ崎支部長の挨拶、植垣前支部長の乾杯で総会は始まりました。今回、初めて臨席いただいた草薙副学長様から躍進華々しい大学の取り組み状況、飯田事務局長様から同窓会の最近の様子などをお話しいただき、興味深く聞き入りました。次に参加者からの近況報告と続き、就

業状況や社会活動、趣味、家庭、健康問題など話題は多岐にわたるとともに、幾多に及ぶ商大時代の思い出話で盛り上がり、1年ぶりの和やかで有意義な懇親の場となりました。あつという間に時間が流れ、来年の再会を誓いつつ、田村副支部長の締めで閉会しました。



そして連日の好天に恵まれた翌日、玉造温泉カントリークラブでゴルフコンペを開催し、参加者は楽しいプレーを満喫しました。我が山陰支部は「同窓を縁とし世代を超えた気楽な親睦の会」というコンセプトの集まりです。より多くの支部会員の皆様にお気軽にご参加いただきますよう心よりお待ちしております。

（学部35回 吉川 浩一 記）

植垣前支部長が次の句を寄せられました。

冬銀河広き露天の湯の真中
歓声の高し背広も丹前も

学部16回 植垣 規雄

淡水人紹介

修士2020 草刈 康弘

昨年、5回目の干支（兔）を迎えた。この間、

東日本大震災、平成か

ら令和への移行、コロナ禍での東京五輪開催など多くの出来事があった。

私はこの間、結婚、マイホーム購入等重要なライフイベントを迎え、2018年には兵庫県立大学大学院経営研究科に入学（当時43歳）し、学び直す機会を得た。毎週土曜日、鳥取から学園都市のキャンパスへ車で通学したが、不思議と苦になることはなく、講義では多くの知見を得たと同時に、同期の学友をはじめ、山陰支部の皆様等様々な出会いを得ることができ、幸運だったと本学との縁に感謝している。

また、在学中、金曜日の晩酌は飲酒運転防止の観点から控えていたため、晩酌の機会は日曜日だけとなってしまった。それがきっかけで、日曜日にはレシビ動画を見ながら妻と台所に立ち、お互いに料理を作って楽しむ趣味を得ることができたことも、楽しい人生を送るうえで幸運だったと感謝している。

仕事の面では、今年度、常勤理事を拝命するなど大きな節目を迎えた。次の兔



年のゴールは還暦となる、この間5回目同様、充実した歳を積み重ね、幸運を引き寄せる周期にしたいと思っています。

岡山支部だより

岡山支部では昭和50年頃から続く例会「三水会」を毎月第3水曜日の夜に開催しています。市内の飲食店などで10名内外の会員が集い、各々の近況・健康状態から社会・経済動向まで様々な話題で盛り上がる気楽な会です。これまで年11回（8月以外）の開催でしたが、新型コロナウイルスの影響でここ2年は年2回・3回となっていました。5類移行となった令和5年は4月の花見会（岡山城の桜を眺められる「ふや平」で開催）から始まり、計6回（予定込み）開くことができました。



花見会では太田学長、飯田事務局長、兵庫県から学部20回の伏谷隆夫さん、学部24回の後藤和博さんにお越しいただきました。また学部45回の黒敷忠章さんのご子女が母校（兵庫県立大学）に入学されたとの嬉しい話題もあり、盛大な会となりました。10月は昼開催としたことから、夜は外出しにくい方々も久々にご参加いただきました。今年、令和5年は単身赴任の学部39回の松下孝志さんと学部51回の中野裕史さんが新たに加わってくれました。岡山在住の方、定年で帰岡される方、転勤で岡山勤務の方、是非ご連絡ください。

岡山支部事務局 G32回 森 義三
yoshizo3m@docomo.ne.jp
(学部32回 森 義三 記)

淡水人紹介

地域コミュニティ

私は昭和43年に神戸商科大学を卒業、現在78歳の兵庫県出身の高齢者です。

転勤で昭和50年に岡山支店に赴任して以来48年岡山市に住んでいます。



学部18回 室谷 勝己

すぐに淡水会岡山支部の「三水会」に入会して大勢の先輩後輩の方々と現在も親しくさせていただいています。私は60歳で定年退職して最近では地域のコミュニティに参加して充実して（？）、楽しく暮らしています。

2つの公民館でウォーキング、料理教室、川柳、水彩画、世界史の講座等に参加。さらに介護予防、健康講座へも参加し18年間頑張っています。人生の大部分を岡山市に住み人生を楽しんでいます。「郷に入っては郷に従え」と言われていますが、地域のコミュニティに参加して価値ある体験と幸せを実感しています。

（公民館には沢山の講座があるのですね！）

広島支部だより

2023年度広島支部の状況

2023年度は6月に久々に定期総会を広島国際ホテルの「東風」で開催したところ12名の参加があり近況報告に盛り上がり、忘年会は12月5日にANAクラウンプラザホテル広島の「メイプルの間」で開催しました。参加者は14名で昔話に花が咲き、かなり盛り上がりお酒が進みました。

現在、当支部におきましては各行事への参加者が固定化かつ高齢化しています。新規メンバーにつきましては、大手



企業の支店勤務の方を勧誘して最初は参加されますが異動が激しいなどの理由で次回以降の参加が厳しい状況です。今後の支部運営がどうなるのか心配しております。

（幹事 学部30回 上杉 浩之 記）

山口支部だより

淡水会山口支部では、令和5年5月8日のコロナ5類移行を受け、さらに広島サミットを避けて、5月13日（土）14日（日）に3年ぶりとなる支部懇親会を山口市で行いました。ちょっと深掘りの観光と懇親会、翌日は学部72カントリークラブ万年池東にてゴルフを行うことができました。素晴らしいゴルフ場で、優勝



は飯田事務局長でした。
 10月14日、二度目の北九州観光での深掘り。たまたま「プラタモリ北九州」編で使われた皿倉山展望台・いのちのたび博物館をめぐる、第24期山口支部総会を、大変眺望の良い下関グランドホテル「ブルーフォンセ」にて総会後の懇親会を含めて開催致しました。
 総会・懇親会は、神戸から来られた来賓の岡村淡水会会長、飯田事務局長様を含め6名にて行いました。(前々日に参加予定の1名、急遽入院で欠席)
 飯田様より大学の近況等お話があり、その後の議事で会計報告と監査結果が承認されました。この後の懇親会では岡村会長の乾杯の御発声から素晴らしい海峡を見下ろす眺望並びにフルコースの食事とお酒に舌鼓をうち、十分満足して解散。
 翌日15日の懇親ゴルフはプレジデントゴルフ倶楽部山陽にて、予報から晴。朝

方曇天から、プレー中は最高の天気となり、若干の風も有り、楽しんで一日を過ごしました。今回のコンペは、春に続き飯田事務局長が優勝しました。
 いつものことですが、山口支部への参加者がいらっしやる限り、続けたいと思っております。支部会員の高齢化と自身の体調を考慮しつつ何とか頑張っております。でも長く支部を続けたいと考えています。
 (学部26回 中島 正國 記)

淡水人紹介

山口県 山田舎育ちの私が神戸商大の入学試験を受け



沖縄旅行 (2023年10月)

て、すでに半世紀近くが経とうとしてい。商大を目指した明確な理由は覚えていないが、おそらく当時の私にとって神戸という街に大きな憧れがあり、恥ずかしながら商大についての知識はほとんどなかったと記憶している。当時の入学試験は国立1期と2期に分かれており、試験科目の4教科という単純な理由であったかもしれない。
 そんな私が商大で4年間を過ごし、さらに社会人になってからも通算で17年を神戸で暮らし、これまでの人生の3分の

1近くを神戸の街で暮らすことができたのはこの上ない幸せであったといえよう。入試で商大に行ったのが初めての神戸であったが、今のように何でもネット上で確認できる時代ではなかったため、それからの神戸での生活はすべてが新鮮であり魅力的であった。学生時代は狭い下宿屋であったが同期が4人いたことで暇な時にやることは決まっていた。バイト先は長田デパート内にあったメンズショップで、週末にはバイト先の友人たちと早朝のソフトボールを須磨海岸で楽しんだものだ。
 社会人になってからの楽しみ方は変わっていったが、食事や買い物など衣食住の三拍子がそろった素晴らしい街に出逢えたことは最高の喜びである。もちろん、商大に進学したことで今の私があることは言うまでもない。
 卒業後も、思わぬところで下宿の同期と再会したり、淡水会の山口支部にお世話になったり神戸商大との縁はこれからも私の心の支えとなることは間違いない。

徳島支部だより

令和5年度淡水会徳島支部総会・懇親会が、令和5年6月3日(土)午後5時からザ・グランドパレス徳島で開催されました。支部会員9名の参加があり、淡水会本部より飯田久夫事務局長、高松支

部から西本正美支部長にご出席頂きました。



支部総会は根来支部長の開会挨拶、飯田事務局長からは大学、同窓会の近況報告、西本支部長の挨拶がありました。続いて議事に移り桑島幹事より会計報告、全員一致で承認されました。

懇親会は糟谷三郎氏(G4)の挨拶、乾杯の発声で開始され久しぶりの会合で話が弾みました。最後に全員で学歌斉唱し石川正博氏(G19)の締めで会員の健康と淡水会の発展を祈念し散会となりました。

(学部26回 根来 弘明 記)

淡水人紹介

学部26回 桑島 繁

徳島支部のゴルフ会幹事をしておりま
す桑島です。現在27回開催し令和6年3
月に28回目を迎えるところです。やはり
若い人の参加が少なく年配の方のみのコ
ンペとなってきました。

高松支部との合同開催でなんとかやっ
ている現状です。勿論プレーは皆様楽し
く和気あいあいとやって盛り上がりお
ります。幹事としてゴルフ場選び、組み
合わせ、景品選びと十分な事はできてい
ませんが皆様のご協力で成り立っていま
す。

最近神戸支部より有志の方にご参加
頂きまして益々盛況なコンペになってき
ました。

神戸よりご参加頂きますので少しでも
神戸に近くの良いゴルフ場を選定し楽し
くプレーしていただこうと考えています。
また前々回より会員の奥様も参加して

いただくよ
うになりま
して華やか
になりました
。しかも
お上手で前
回は準優勝
でした。

今後はや
はり現役の



会員、女性会員、会員の奥様等奮ってご
参加いただけますよう企画を行い会員相
互が親睦を図れるような楽しいコンペを
目指していきたいと思えます。

コースはJクラシック、サンピアゴル
フクラブ、グランディ鳴門ですので楽し
んでいただけたらと思います。ご遠方の淡
水会会員の方のご参加をお待ちいたしま
す。

皆様のご支援ご協力を何卒宜しくお願
い申し上げます。

高松支部だより

活動について

未だかつて経験したことのないような
猛夏を過ごし、ようやく秋の風を感じら



た活動を行いませんでした。今回の支部
だよりは、番外編でご報告させていただきます。
きます。

福岡の代表的なお祭りに、「国重要無
形民俗文化財」及び「ユネスコ無形文化
遺産」に登録された、博多祇園山笠が
あります。7月1日から15日まで、博多
の町を勇壮な昇き山が駆け回り、煌びや
かな飾り山が各所でお客様を迎えます。

2000年に、福岡ドーム（現、福岡P
ayPayドーム）敷地内に、当時のダ
イエー香椎店から飾り山を設置する事
になりました。私が、不肖ながら、令和5
年度博多祇園山笠十一番福岡ドームの総
務の任をうけました。総務は、担当山笠
の責任者になり、山笠振興会の行事等
にも出席することになります。活動は、7



れるようになった10月28日、昨年同様の
「活魚料理天勝」にて、高松支部総会を開
催しました。今回は草薙副学長を初めて
お迎えすることができ、盛大な会となり
ました。総勢15名のなかで、歌える会員
は限られておりますが、「商大小唄」の合
唱で晴れやかな歌声を披露しました。来
年は四国を離れる会員もいるのですが、
今までの繋がり大切に今後も交流を続
けていきたいと思っております。

(学部31回 西本 正美 記)

九州支部だより

2023年は、コロナが収束し、よう
やく以前の生活に戻りつつある年になり
ました。ところが、九州支部は、目立っ



山笠の台上がり 向かって一番左が筆者



月だけでなく、1月から12月まで、会議、神事等、いろいろあります。初めての総務で、無事奉納することを念頭に、様々な業務に携わりました。7月1日からは、飾り山を公開して、昇き山にも加勢に入りました。幸いにも、12日の追山馴らしで、八幡山笠上川端通で昇き山の台上がりを見せていただきました。関西から福岡に来て、32年目。関西人と九州人の二刀流に少しでも近づけたのかなと思えた瞬間でもありました。縁もゆかりもなく始まった福岡の生活でしたが、沢山の人の出逢ってきました。その中で、商大の諸先輩にお逢いしたことも、大きな出来事でした。特に印象深かったのは、最初にお会いした当時の支部長の故佐藤良彦先輩でした。1996年の2月に九州支部総会をドームの隣のホテルで開催した時です。その時は、中内功先輩（当時は、ダイエーのCEO）にも、ダイエーの秘書室に無理やりスケジュールを調整していただき、ご出席していただきました。商大OBが沢山集まり、高丸の昔話に時間の経つのを忘れ、福岡に来て心

休まる場が出来た」と大変心強くなりました。

その後は、故佐伯卓三先輩です。九州支部の支部長を「お前に譲る。」一言でした。「これからは、若い君たちの時代だ。思い切りサポートするから、お前がやれ。」若くはない年齢になりましたが、先輩からの遺志を引き継いで、今一度、気持ち新たに、活動していきたいと思えます。九州のOBの方々、いつもご連絡をお待ちしています。

（学部33回 安積 研二 記）

ニューヨーク支部だより

コロナの最中のニューヨークで日本文化を学ぶ II 包丁と砥石そして研ぎ II

このところ海外で日本の包丁が益々人気を集めていることをご存じですか。ここニューヨークでは和包丁を専門的に取り扱っている日系の店が2店あり、米国各州だけではなくヨーロッパ各国からも来客があります。他の地域では本格的な専門店がほとんど無いとのこと。

2018年の末から数年その内の一つ共同貿易の店舗「MTC Kitchen」で働きました。取扱商品は包丁のほかレストラン用の小道具、食器です。MTC Kitchenの目玉となる和包丁は「高村作」で知られる「高村刃物」、米国唯一の店頭取扱店です。その他「子の日」「塚孝之」「黒崎優」「加藤義美」「高田」「スケナリ」等々

幅広く扱っています。

それまで日本の包丁に関して全く無頓着だった私にとって遅れ馳せながら正に大発見。またその奥深さは驚きと同時に困惑ものでした。そんな最中2020年3月、パンデミックに突入。間もなくニューヨーク市は米国内でも最悪の状態となり、店舗関係は全て閉店となりました。私も6月の末まで自宅待機状態となりました。マンハッタン郊外のクイーンズに住んでいます。近所でも数名の方が亡くなったほどです。

自宅待機中に包丁の知識を高めようと本とオンラインで勉強。包丁の種類からはじまり、その鋼の種類と性質となると非常に難しい。ステンレスでも粉末ハイス鋼、VG10などなど、ハガネは白鋼、青鋼、銀三等々。その中で成分の違いやその比率でさらにいくつかの種類に分かれる。それぞれの特徴となるとさらにややこしい。

和包丁にどうしても付いて廻るのが「砥石と研ぎ」。その基本知識は必須ですが実際に体得するのが大変。高村刃物の高村兄弟は「研ぎは一生勉強」と言います。私も未熟ながら、砥石を買って、家庭で台所の包丁をここ3年程毎週研いでいます。

砥石は基本的に荒砥、中砥、仕上げの三種を使い分けます。研ぎの際、包丁の持ち方、角度、指先への力の入れ方と包丁の滑らせ方など手と指が覚えるまで練

習するのがまずその始まり。研ぎは集中力が必要で、気を抜くと怪我の元。上手く研げた時は満足感があり、精神的にも良いと思います。

また、和包丁と洋包丁それぞれの特徴を語ると長くなるので次回の機会に。皆さんも、何気なく使っている台所の包丁を改めて見直してみると新しい世界が開けるかもしれませんよ。

水谷公成 (Kim Mizutani)

インスタグラム @kim.mizutani

（学部30回 水谷 公成 記）

ジャカルタ支部だより

コロナ明けのインドネシアへジャカルタ駐在を終えて

2019年3月からインドネシアに3度目の駐在となりましたが、何とかコロナにもかかわらずこの23年8月に無事帰国いたしました。

昨年22年11月に入国にPCR検査が不要となったので、日本からの出張者の往来も活発となり、再び経済も活性化してきたのを肌で感じてきておりますが、この1年の出来事を下記させて頂きます。

1) 天皇后ご来訪

23年6月17日〜23日に天皇后両陛下がインドネシアをご訪問され、ジャカルタ市内の地下鉄（日本政府資金にて19年開通「スケジュール通り」）の現場ご視察や職業訓練校訪問等々の行事が行われ

ましたが、特に雅子皇后におかれては20年ぶりの国際親善のための海外訪問で華やかな数日となり、在留邦人にとっても非常にはれやかかつ心温まる数日となりました。

その中で残留日本兵が祀られるカリバタ英雄墓地のご訪問もあり、同運営を行う福祉友の会（*）会長のヘルサントン衛藤さん（G37）が現地にてご案内されたり、晩餐会でのご接見も行われました。（*）尚、22年7月に同会の歴史ギャラリーがオープンしております。
<https://ja.wp-indonesia.org/>

2) 現地の雰囲気 ～日本食レストラン
 コロナが明けてまた活気が戻りつつあり、日本食レストランの新規出店が進みつつありますが、コロナ前と大きく違ってきているのがどこも（日本人ターゲットでなく...）ローカル（お金持ち？）ターゲットのお店が増えてきています。

店の作りは高級、盛り付けも美しく、寿司メニューもカリフォルニアロール風（海苔が外に出ないもの）が中心で、味はまずまずながらとにかく高い。ランチの定食が1000円以上もして高い！と文句を言う日本人はもう相手にされなくなってきたように感じます。

10年前ごろから進出してきた日本のラーメン屋、うどん屋も値段は日本と同様ながらもローカル庶民層に人気ですが、総じて麺は柔らかく、スープはぬるく、日本人からすると物足りなさが否めませ

んが、これがローカライズされている証拠かなと感じております。

3) さいいじ
 経済が成長する勢いを肌で感じながら、日本はいつ抜かれてしまうのかと感じている一方、幸い日本との友好関係は維持できてきていますので、日本の技術力、勤勉性等によってこういった成長力のある資源国と友好協力関係を維持していくことにより、日本の成長も維持していくれるのかなと思っております。

ジャカルタ支部メンバーも少なくなっってしまったっており、小生が引続き窓口となっておりまして何かインドネシアの関連がございましたら小生までご連絡頂戴できれば幸いに存じます。
 余根田 紳次 yonedashinji114@gmail.com
 （学部44回 余根田 紳次 記）

淡水人紹介

学部2019 山下 萌菜
 インドネシアのジャカルタで2年間の勤務を終え、令和5年の夏に日本に帰国しました。学生時代からずっと海外での仕事に憧れがあり、社会人2年目でインドネシア行きの現地採用での転職を決めたコロナ禍のその当時は、帰国後の仕事に対して不安を抱えていましたが今、海外での就労経験を生かして、学生の時からの夢だった海外に関われる仕事に日本

で就いています。

インドネシアへは、3回生の時に日本語を教える政府のプログラムで半年間滞在したのが初めてで、温かい国民性と多様な文化、日本人にとって習得しやすい言語に親しみを感じ、次は社会人として仕事でインドネシアと関わりたいという挑戦の思いから、2度目の渡航を決めました。もちろん、新卒で入社した会社、家族と友達から離れることに対しての不安と迷いもありましたが、ジャカルタのお仕事で内定を頂いた時のワクワクした気持ちで最優先に、自分の直感を信じて日本を出る決意をしました。初めての海外勤務経験は、自分が外国人というマイノリティとして、異文化で外国語を使って仕事をする事の難しさを毎日肌で感じ、もちろん大変なこともありましたが、刺激があり、現地ではできない経験が詰まった、充実した日々でした。現地で築いた人間関係や思い出は、あの時の決断があつたからこそ得られたものであり、特に、同世代の現地で頑張っている日本人達とは、同志で高めあえる一生の仲間にもなりました。これからも挑戦



する気持ちを忘れずに進み続け、この記事が海外志向の学生さんたちの一歩を踏み出す勇気になることを願っています。

社会にでたら
 先輩を頼れ



兵庫県立大学 淡水会
 会長 岡村 武和

淡 水 会			
本部		078-795-1020	
北海道支部	0123-27-2772	東京支部	03-3350-4588
東海支部	058-253-1422	北陸支部	080-6364-5622
京都支部	075-371-6101	奈良支部	090 4275-3591
大阪支部	06-6303-3300	神戸支部	078-939-3082
明石支部	078-921-0090	東播支部	079-438-2904
姫路支部	079-223-1241	岡山支部	086-472-4206
広島支部	082-237-0419	山陰支部	0853-45-0236
山口支部	083-246-2773	徳島支部	088-612-8250
高松支部	0877-85-3378	九州支部	092-847-1546
ニューヨーク支部・ロサンゼルス支部・ジャカルタ支部			